


在宅医療から排出される廃棄物

在宅医療から排出される廃棄物について

在宅医療から出たプラスチック類などは「燃やせるごみ」として出すことができるようになりました。「燃やせるごみ」として出せるものは、在宅医療により、患者や家族が自ら医療処置を行って発生した、「非感染性」で「非鋭利」なプラスチック製やビニール製のごみとなります。



- 感染の心配があるものや、注射針など鋭利なものはごみに出せません。
- 点滴バック等にはプラマーク  の付いたものもありますが、在宅医療から出されるプラスチック類やビニール類は、一律に「燃やせるごみ」となります。

【ご家庭からの排出方法】

- 中の残存物を適正に処理し、空にしてから燃やせるごみの指定ごみ袋に入れて出す。
- 汚れ(薬等)がある場合は、すすいで汚れを取り除く。
- 飛散防止のため、小袋に入れて、口をしぼり、燃やせるごみの指定ごみ袋に入れて出す。
- 往診等により出る医療廃棄物は、収集することができません。医療機関で持ち帰って処理をしてください。

環境への配慮

ごみを減らすための3R

3Rとは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードで、**リデュース(Reduce)**、**リユース(Reuse)**、**リサイクル(Recycle)**というRの頭文字で始まる3つの行動のことです。

優先順位

1 リデュース(Reduce) ごみになるものは買わない

- (1) レジ袋をもらわない
- (2) 過剰包装は断る
- (3) 容器包装が少ない商品を選ぶ
- (4) 不要なサービスは断る
- (5) 買いすぎ、作りすぎに注意



2 リユース(Reuse) 使えるものは繰り返し使う

- (1) 使ってくれる人をさがす
- (2) 物を大切に使う



3 リサイクル(Recycle) 資源として活かす

- (1) 分別収集、店頭回収への協力
- (2) 生ごみ処理器の活用
- (3) 資源にならない物は絶対に混ぜない
- (4) 再生品を使う









リサイクルは「ごみを減らすための3R」の最後の手段です。




環境ラベル (環境に関する情報を消費者に伝えるためのラベル)

 エコマーク (財)日本環境協会による厳しい審査基準をクリアした、環境保全に役立つと認められた商品に付けられるマーク。	 牛乳パック再利用マーク 使用済み牛乳パックを原料として使用した商品に付けられるマーク。	 省エネ性マーク エネルギー消費機器の省エネ性能を示すマーク。緑色のマークは省エネ基準達成率100%以上の製品に表示されます。	 グリーンマーク 古紙を原則として40%以上原料に利用した製品に表示。	 低排出ガス認定マーク 自動車の排出ガス低減レベルを示す認定マーク。
 非木材グリーンマーク 非木材を使用した製品に付けられるマーク。	 PETボトルリサイクル推奨マーク ペットボトルのリサイクル品を使用した商品に付けられるマーク。	 国際エネルギースターロゴ パソコンなどのオフィス機器について、稼働時、スリープ・オフ時の消費電力に関する基準を満たす商品に付けられるマーク。	 再生紙使用マーク 古紙パルプ配合率を示すマーク。Rの横の数字は古紙配合率を示します。	

識別ラベル (分別収集して資源として再利用する際の目印となるマーク)

 スチール スチール缶識別マーク 分別回収を促進するために清涼飲料水などの缶に付けられるマークで、缶の材質が一目で分かるように表示	 アルミ アルミ缶識別マーク スチール缶識別マークと同目的のマーク	 PET ペットボトル識別マーク 指定ペットボトルに付けられるマーク
 プラ プラスチック製容器包装マーク 容器包装のうち、プラスチック製のものに付けられるマーク	 紙 紙製容器包装マーク 容器包装のうち、紙製のものに付けられるマーク	 Ni-Cd 充電式電池リサイクルマーク 希少資源の有効活用と再利用のために充電式電池に付けられるマーク

その他のマーク (リユース・リサイクルを進めるためのマーク)

 段ボールリサイクルマーク 段ボールに付けられるマーク	 紙バック 紙バックマーク アルミなし紙バックに付けられるマーク	 リターナブルびんマーク 日本ガラスびん協会が認定するリターナブルびんに付けられるマーク
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

「もったいない」という気持ちがごみを減らし、資源の有効活用につながります。

